



皇国の決断

令和7年10月11日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

混乱は世界の現実とともに、自国の崩壊を求める。これは政治が真実において自己を有する限り、否定できない。

為政は私を求めず、公正無私な自己において現実を求めるものである。それらが今日日本の唯一の選択であり、それら現実が未来を与える唯一の可能性である。

他を尋ねるのでなく、自己を尋ねることは、唯一自己において行うことである。

これら信念と行動は現実を与える基盤である。

これら正しい判断は世界に対しても等しい。それらは異性に求められる現実なのである。

これらは国民への責任と世界への責任を行うことへの正しい合意であり基盤なのである。

新たな政治の枠組みは正しい自己基盤を求め、その合意が未来の実現を与える唯一の選択である。

これら歴史の分岐点にある今日、選択が未来を実現することは理解されなくてはならない。

政治は常に国民の模範として自己を求められるのである。

正しい理解と行動は唯一未来を与える現実であり、知性という飛躍は世界との対等性を実現する基盤である。

これら国家に岐路において政治がその選択において未来を実現を有するものである。